

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	不破郡垂井町家庭教育支援チーム (呼称: 垂井町家庭教育支援チーム連絡会)
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	垂井町教育委員会
活動範囲	垂井町全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<p style="text-align: center;">26 人</p> 主任児童委員・民生児童委員・社会教育主事・各小中学校教頭 スクールアドバイザー
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ・主任児童委員、民生児童委員を中心に、広く家庭への周知を行い、学校と連携して、子育て相談から虐待やネグレクトまで、家庭教育への啓発活動を行う。 ・SSW など、見識のある立場の方に講師を依頼し、研修会を開催する。
活動の成果	・地区の民生児童委員の紹介文を、小、中の入学式に配布して、相談がある時は気軽に電話などで相談できるようにしたところ、子育てなどの相談が数件あった。地域の子どもは地域で育てるという機運も高まっている。 ・学校からは教頭が参加していることから、相談があった時は速やかに学校と連携して、ケース会に繋がりやすくなった。 ・8月の連絡会では、圏域のSSW に来てもらい、講話をしてもらった。

<p>活動において苦労した点や課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は類似の会議が大変多く忙しいため、全体会は年に1度となっている。各学校では民生委員と語る会や、ケース会など開催しているが、家庭教育支援チームとの連携の具体が生まれにくい。しかし、いざという時は、地域の方々からの支援があるということは教員の安心感に繋がっている。 ・課題としては、多様化する家庭の問題に対して、効果的かつ効率的に啓発活動ができると良い。工夫が求められる。
<p>今後の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で行っている民生委員との懇談会や、連携して良かったケースを連絡会で周知し、広がりを持たせていく。 ・子育て支援に役立つ小冊子などを作成して効果的な家庭教育支援を行っていく。
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)垂井町教育委員会 生涯学習課 (TEL) 0584-22-1151(代)</p>